

ユナイテッド・アーバン投資法人が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、ユナイテッド・アーバン投資法人（以下「本投資法人」）が発行する第 22 回無担保投資法人債（サステナビリティボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2021 年 10 月 28 日）。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が①社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）および、②環境改善効果があること（グリーン性）の双方を有する債券です。

本投資法人は、本債券で調達した資金を、グリーン適格資産であるパシフィックマークス横浜イーストの取得に要した借入金の返済資金並びにソーシャル適格資産である宮の森二条開発用地（老人ホーム）の開発資金に充当する予定です。

また、本債券は、第三者評価として株式会社日本格付研究所（JCR）より、「JCRサステナビリティボンド評価」の最上位評価である「SU1」の評価を取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上